

「新庄市立明倫学園 竣工式」が行われました！

令和3年4月に開校した新庄市立明倫学園の全工事内容の完了を記念し、8月5日(土)に竣工式が行われました。

竣工式では、施工業者への感謝状贈呈が行われたほか、明倫学園の生徒が作成した「明倫学園の歩み」のスライドが流され、明倫学園8、9年生による開校後の様子や施設についての説明がありました。

当日の午後には、一般向けの施設見学会があり、地域から多くの方が来校し、見学いただきました。

明倫学園は萩野学園同様、義務教育学校として「発達段階に応じた4-3-2ブロック制」や「小学校段階からの教科担任制」、「教科教室制」の導入をはじめ、「異学年交流」の推進などを行っており、将来地域を支えていく人材を9年間で育てていくという小中一貫教育校としての有効性を追求した学校施設になっています。

学校の中心には地域交流ホールがあり、「地域サロン」として地域の方にも開放しています。また、地域の方々との交流を通じて、ふるさと学習における地域の文化・歴史・伝統を学ぶ場としても活用しております。

7月に完成したブランコなどの遊具施設がある広場は、明倫学園の1～4年生に名前を募集し、『明友広場』と名付けられました。



<地域サロン>

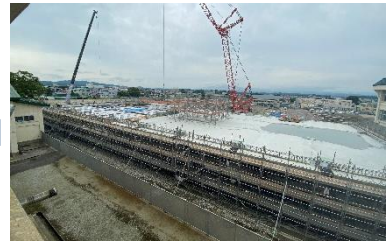


<明友広場>

明倫学園、完成までの道のり



<着工前>



<完成>

平成29年から2年にわたる基本計画・構想のもと、令和元年10月より校舎棟建設工事が始まりました。その後、体育館棟建設工事、グラウンド整備工事、建物周辺外構工事と進み、令和5年7月31日に工事が完了しました。

新庄市の小中一貫教育と地域に根ざした学校づくり

新庄市では、小中一貫教育を推進しています。また、昨年度から、市内全校において「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を取り入れ、学校運営や学校の課題について、広く地域住民の皆様が参加できるようになりました。

市内の各小学校、中学校、義務教育学校においては、第5次新庄市総合計画にある10年後の姿である「意欲的に学びあい、生きる力が身についている姿」「地域に関心を持ち、良さを理解し、ふるさと新庄への愛着が育まれている姿」を目指し教育活動を行っています。「いのち輝き学びあうまち」を目指し、「いのちの教育」と「中学校区の特徴を生かした小中一貫教育」の推進はこれからも続けていきます。

新庄市の小中一貫教育について、ご意見等ございましたら下記にお寄せ下さい。

【お問い合わせはこちらへ】

新庄市教育委員会

施設設備等のことなど ・ ・ 教育総務課 (直通 23-5004)

小中一貫教育の内容など ・ ・ 学校教育課 (直通 23-5003)